

社協名	社会福祉法人 天草市社会福祉協議会
-----	-------------------

住 所	熊本県天草市五和町御領 2943 番地
電 話	0969-32-2552
ファックス	0969-32-2551
メール	chi-ki@amasha.jp
担当部署及び担当者	福祉のまちづくり課 地域福祉係

テーマ番号	事業・取組み名
6	墓地清掃管理サービス事業

取組みのきっかけ

平成26年3月、県民の生涯を通した安心の実現を目指して、県より「これからの墓地行政のあり方等に係る研究報告書」が示されました。

天草市においても高齢化率は38%を超え、周辺地域では50%を超えている行政区も多くなっています。

天草市社会福祉協議会では、人口の減少とともに、永続的な墓地の管理ができない高齢者が増えてきている現状に対応するため、地域の大切な空間である墓地の再生と管理システムを構築するため、「墓地清掃管理サービス事業」に取り組みました。

新たな福祉的視点で、ソーシャルファームの理念に基づき、障がい者施設やNPO法人、引きこもり者及び高齢者を組織化し、障がい者の就労支援や生活困窮者に対する就労の場として位置づけ、お墓の清掃を依頼しています。

※ソーシャルファームとは

障がいがある方や引きこもり者、高齢者などで仕事を見つけることが困難な方及び一般就労が難しい方へ、働く場を創り出し提供する取り組み

* 取組み開始日（平成26年度から実施）

具体的な取組み内容と実施体制

* 県の平成26年度地域共生くまもとづくり事業補助金を活用し、地域の情報収集と先進地の視察研修を実施しました。

<先進地の視察>

* 視察研修の実施（平成26年10月から12月）

・人吉市社会福祉協議会「墓地の管理に関する調査の状況」（人吉市）

- ・就労支援センターせせらぎ「墓守サービス事業の取組み」（人吉市）
- ・希望の森エバーグリーン「お墓の管理サービス事業」（大分県佐伯市）
- ・始良市社会福祉協議会「墓守サービス事業」（鹿児島県始良市）

＜情報の収集＞

* 天草市宮地岳町２３２の全世帯に対しアンケート調査を実施し、墓参りの頻度と管理状況については、要因は不明だがお参りに行けない人・お墓の掃除ができない人が存在していました。これについては要因を把握し、墓地に関する住民の不安やニーズに対応していく必要性を感じました。（平成２６年１０月）

* 河浦町白木河内地区では、１２２基の墓地の管理状況を調査。
管理がなされていない無縁墓状態とも見受けられる墓も複数存在しており、必要に応じた管理ができるよう環境を整備していく必要性を感じました。
（平成２６年１２月）

* 事業実施に係る新たなソーシャルファームの研究に関し、障がい者の就労を支援するＮＰＯ法人等の現状を把握するために事業所を訪問しました。（平成２７年１月）

・墓地の清掃及び墓参りの代行という形で事業に取り組んでいる施設もあることが把握できました。一方、サービス事業に対する利用者の確保に伸び悩んでいる現状もあり、事業周知不足など課題があるように感じました。また、それぞれの施設においては、施設利用者の更なる就業の場の確保と賃金上昇に対応できる環境の構築にも課題があり、今後、各施設と社協で協力しながら墓地管理システムの構築に対して取り組んでいけるのではないかと感じました。

* 石材店の協力により、障がい者就労支援事業所の職員、利用者及び社協職員で、墓石の清掃に関する講習会を開催し、実際に墓石を使って掃除方法を学びました。（平成２７年６月 ３５名）

* 本会広報誌「社協だより笑顔」への掲載やパンフレットを作成して周知していますが、平成２７年７月２０日の熊本日日新聞に掲載されると、県内外から多くの問い合わせがあります。

* 平成３０年度予算額（ ７４８ ）千円

事業実施の効果

＜事業実績等＞

- * 平成２７年７月から実働に入りました。
- * 関東・関西の郷友会等にもパンフレットを送付し、事業の周知を依頼したことから、地元を離れて暮らす子供さん方からの依頼も増えてきました。

【平成２７年度】

・新規契約件数 ３９件 ・作業回数 ５５回 ・作業墓標数 ７５基

【平成２８年度】

・新規契約件数 ４４件 ・作業回数 １１７回 ・作業墓標数 １５１基

【平成２９年度】

・新規契約件数 ４９件 ・作業回数 １８４回 ・作業墓標数 ２２７基

* ＮＰＯの障がい者就労支援事業所の利用者の賃金アップにもつながっています。

* お盆や正月及び春と秋のお彼岸前には、作業依頼が殺到し、障がい者就労支援事業所も対応ができない状況が出てきたため、近年は、地元の高齢者や障害があり一般の就労ができない方、及び引きこもりによる生活困窮者の方にも、就労してもらうなど、事業所の利用者以外の方にも作業にあたってもらっています。

今後に向けて(課題など)

《 課 題 》

* 墓地の清掃管理については、核家族化と少子高齢化に伴い、その需要は益々増加するものと見込まれます。

需要に対応するため、対応していただく障がい者就労支援事業所を増やすことと、在宅の障害者や高齢者及び引きこもり者などの就業の機会を増やす機会の組織化も必要になってくると思います。

* お墓の清掃管理でお困りの方に対し、地域の大切な空間である墓地の再生と、新たなソーシャルファームの視点からの事業拡大につなげられるよう取り組んでいく予定です。

* ある支所圏域では、作業の依頼件数が多くなり、障がい者施設のみでは作業の受け入れが困難な状況になっており、新たに作業を実施していただく団体等を組織化する必要があります。

◇天草市社会福祉協議会各支所連絡先

支所名	郵便番号	住 所	TEL	FAX
本 渡 支 所	863-0013	天草市今釜新町3699番地	0969 24-0100	0969 22-4985
牛 深 支 所	863-1901	天草市牛深町2286番地103 天草市牛深支所内	0969 72-2904	0969 73-2984
有 明 支 所	861-7201	天草市有明町赤崎2010番地9 有明老人福祉センター内	0969 53-0110	0969 53-1546
御所浦支所	866-0313	天草市御所浦町御所浦3527番地 天草市御所浦支所内	0969 67-3782	0969 67-3044
倉 岳 支 所	861-6402	天草市倉岳町棚底1997番地1 倉岳老人福祉センター内	0969 64-3895	0969 64-3766
栖 本 支 所	861-6303	天草市栖本町馬場3682番地1 栖本福祉会館内	0969 66-3367	0969 66-2780
新 和 支 所	863-0101	天草市新和町小宮地669番地1	0969 46-3770	0969 46-3772
五 和 支 所	863-2201	天草市五和町御領2943番地 天草市五和支所内	0969 32-1076	0969 32-0712
天 草 支 所	863-2804	天草市天草町高浜南488番地1 天草市天草支所内	0969 42-0678	0969 42-0704
河 浦 支 所	863-1215	天草市河浦町白木河内223番地12 河浦老人福祉センター内	0969 76-1401	0969 76-1425

～福祉文化が薫る島づくり～



社会福祉
法 人

天草市社会福祉協議会

〒863-2201

熊本県天草市五和町御領2943番地 天草市五和支所内

TEL: 0969-32-2552 FAX: 0969-32-2551

地域大切な空間である墓地の再生

ご先祖を敬い、
絆を大切にする



墓地清掃 管理サービス

お墓の清掃管理でお困りの方
ご先祖様を敬う
“まごころ”をお届けしませんか



社会福祉
法 人

天草市社会福祉協議会

天草市内にお墓をお持ちの方で、身体的な理由やご家族の都合で、墓地の管理にお困りの方に代わって、お墓の掃除や供花を代行するサービスです。

サービス利用料金		
利用回数	利用料金	備 考
1 回	3,500円 (1基1回)	お墓の広さ、墓石の数により、利用金額に変動があります。 (10㎡を超える場合、複数の墓石がある場合は、別途お見積もりいたします。)
	複数回ご希望の方は、利用料金×回数の金額になります。	
サービス内容		
基本作業	墓地内の除草及び枯葉やゴミ等の掃除と、手作業による墓石の水拭きを行います。 (高圧洗浄機等は使用しません。)	
供 花 (別途料金)	ご希望により、生花をお供えします。 供花料金 1対 1,500円 ※供花については、時期により価格の変動がありますので、上記金額内で購入できる範囲内でお供えをいたします。 ※宗派の関係で、お花以外でのお供えや造花などのご希望にも対応します。 (実費負担となりますのでご相談ください)	
その他	※その他、故人の嗜好品などのお供え物を希望される場合は、墓地所在地の支所でお預かりし、作業時にお供えします。 ※天草市外の方の場合、墓地所在地の支所に送付していただければ、お墓にお供えいたします。	

墓地清掃管理サービス申込書

下記のとおり墓地清掃管理サービスを申し込みます。

(フリガナ) 申込者氏名		年齢	歳
		性別	男・女
住 所	〒 —		
電 話 番 号	() —		
(フリガナ) 墓地の確認者氏名		年齢	歳
		性別	男・女
住 所	〒 —		
電 話 番 号	() —		
墓地の所在地		墓石数	基
ご希望の回数、 供花など (適宜記入及び○を 付けてください。)	清掃希望回数、時期	供花お供え物	
	_____回/年	生 花 ()	
	(毎月、 春のお彼岸、	シバ類 ()	
	秋のお彼岸、お盆、正月、 その他 _____)	その他 () ()	

◎この申込書にご記入の上、お墓が所在する地域の天草市社会福祉協議会各支所へFAX、または郵送してください。(各支所の連絡先は最終面に記載)
お墓を確認のうえ、あらためてご連絡いたします。

荒れる墓地

天草市社会福祉協議会（熊本県）

困窮者や障害者が清掃代行



台座のコケや周りの雑草も丁寧に処理

熊本県の天草市社会福祉協議会（中村五木会長）は2015年6月から、障害者や生活困窮者などが墓地の清掃を代行する事業を開始した。高齢化により手入れができずに放置された墓地問題を解決すると同時に、一般就労が困難な人の居場所をつくる狙いがある。（佐藤隆雄）



2016.3.7

問い合わせ急増

「まずはお参りから始めようか」と一歩踏み出した1月上旬、清掃作業を依頼した人たちは全員で墓石を前に手を合わせ、静かに目を閉じた。切りに静寂が立ちあがる。

この日、墓地を清掃したのは20代と30代の若手4人。墓石や高は浅く、中には水が溜まり、水をかけては、黙々と掃除を上げる。また、台座の苔や、周りの雑草も丁寧に処理する。時折、「そこ、キレイになりまし」と支援員の声がかかった。

3回目の参加という代男性は、地域の民生委員の紹介で墓地清掃をするようになった。熊本市内の専門学校を卒業後、就職が決まらなかった天草市の実家に帰省。両親は他界してお

り、祖母と弟との3人暮らしだといふ。

一般就労の経験もあるが、これまで長続きせず、最近では引きこもりがちだった。男性は、頼りにする存在がなくなるといふ。



【清掃前】雑草やコケが生え荒れた状態



【清掃後】雑草などが取り除かれ墓石もきれい

「墓地の掃除は疲れるけど、終わった時の達成感は大いだと思います」と語った。

天草市社会福祉協議会が墓地清掃事業を始めたのは、高齢化と労働力の都市部流出が進み、誰も管理しない荒れた墓地が目につくようになったからだ。一方、2015年度から生活困窮者自立支援法が施行され、地域の居場所づくりも課題となっていた。

そこで、天草市社会福祉協議会が、一度に解決できるのではないかと事業化を決意。同市にもある中村会長が初め、障害者の清掃所づくりへの理解があったことも後押しとなった。

作業の基本料金は1墓あたり3500円。生花を備えるものと、生花のみの2000円がある。このうち2000円を社会福祉協議会が手配し、残りは作業した人たちが受け取る。

作業の前と後には、墓の写真を撮影し、清掃前後の写真を元祖様に申し送りしている。高齢者は少なく、清掃後の写真を送ると、涙を流して感謝する依頼者もいる。天草市社会福祉協議会理事長は、清掃作業をする人は事前に研修を受講。石の知識や扱い方を学ぶ。困窮者以外に、市内の障害者施設の利用者にも参加を呼び掛け、現在30人以上が研修を受けたという。

墓地清掃は開始当初、天草市社会福祉協議会が中心だったが、だが、地元紙やテレビ局が一斉に取り上げると問い合わせが急増。15年7〜12月の実績は約150件、当初の予想を上回った。

既に年4回の清掃依頼もあり、さらに問い合わせが増える可能性もある。ただ、お祭や年末年始時期によって依頼が増えるため、今後は一度に消化できる人材の養成が課題だといふ。

熊本常務理事は「墓地清掃はさまざまな課題を解決する事業ならではの事業ではないか。今後も地域に市民の理解を広げていきたい」と話している。

福祉新聞

明るい笑顔に囲まれたら毎 福が今何となくいいもの、とが、果たして『相手』に手をさし、さす『相手』のか『福』を維持す

に

8月、

事

子

大宮 子とあふ する建 深井正 初年度 学生や 象とし の大規 画を行 現在 環境地 産生徒 記念で 答えて 2014

障害者の自立支援

お墓掃除 ビジネスに



障害者や引きこもりの人など就労困難者が無数の清掃や管理に当たり、資金を導く事業が天草市で6月にスタートした。同市社会福祉協議会が、労働市場で不利な立場の人々に仕事を提供する組織「ソーシャルファーム」として事業をけん引する。障害者施設などは「通所者が社会貢献できる機会が増える」と期待を寄せる。

（酒巻 一）

8月上旬、天草市五和町の墓地に障害者や通所施設の関係者が集まった。墓の扱い方を学ぶ公開講座にメモを取った。

地元石材会社の担当者が「墓石は文字が彫られた部分も含め、優しく水洗いしてください」と墓地

は大切な空間。先祖を敬う気持ちで扱うことを指し、おむちも膝で抱く」と「お祈りすると、参加者は熱心にメモを取った。

■通所者 高齢化でソーシャルファームは1970年代にイタリア

■「新編」の成立

ソーシャルファームは
1970年代にイタリア

石材会社の担当者（右から2人目）から墓石の扱い方などを教わるNPO各人の関係者や聴講者ら＝玉置市

天草市社協が事業化 依頼主と仲介

対価受け取る仕組み大事



「ソーシャルファームの意義は、障害者や高齢者などが働ける場を生み出す取り組みとして、近年注目されている。」

熊本学園大 和田要教授に聞く

大事なのに、作業が利益に直結し、作業を担う人が社会に貢献できること。さらに、対価を受け取れる仕事でなければならぬ」

― 墓地の整備を民間に委ねる。墓は単なる骨殖貯蔵場ではない。故人が生きた証しとして、地域一体で守るべき場所だ。昔は隣近所が「あなたの家」の墓もついでに掃除しておいたと云い合えたが、現在は家族化や人口流出などで、そんな関係は望めない。合点は果たせるか」

― 掃除をして花を供える。そのような単なる作業にとどまらず、墓の持ち主の気持ちに寄り添う姿勢もほしい。そうした思いが「地域で墓を守る」ということになる」

― ソーシャルファームの今後。

「一生懸命に仕事をして対価をもらうということが、社会で生きる人の何よりの喜びだ。誰もが生きがいを持てる社会づくりの機関として、増えることを期待する」

地蔵や住民をつなぐ地元の社
協が事業を進めることは、民
間企業や外部の人間が担う

特報

務理事に社協が仲介し、きちんと報告もすれば、嵐の持ち主も安心して申し込める」と説明する。

■波岸や盆の前に
事業は助成施設だが、障害者を雇える関係では熱い知識を要する。而て市東町の旭陽会や、豊後県「のぞみ作業所」は、これまで農作業や手芸など、で通所者が1人が賃金を得る前に注文が多くなるなど、畑、果樹、7月に入ると、問い合わせが増え、第1回の開催作業も決まった。

■福本常務理事は作業を担う人が市内に数千人規模にいると見込み、「雇うが信頼して社会づくりと、信頼してもらうと農地の管理事業を成立させたい」と意気込んでいます。

天草市社協 0969 (302) 25952。

■波草や盆の前に

「整理事は「社協が仲介し、きちんと報告もすれば、墓の持ち主も安心して申し込める」と説明する。